

終戦の詔書

朕深く世界ノ大勢ト帝國ノ現状トニ鑑ミ非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ茲ニ忠良ナル爾臣民ニ告ク
朕ハ帝國政府ヲシテ米英支蘇四國ニ對シ其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨通告セシメタリ
抑帝國臣民ノ康寧ヲ圖リ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ皇祖皇宗ノ遺範ニシテ朕ノ奉シテ措カサル所曩ニ米英二國ニ宣戰セル所以天亦實ニ帝國ノ自存ト東亞ノ安定トヲ庶幾

スルニ出テ他國ノ主權ヲ排シ領土ヲ侵スカ如キ
ハ固ヨリ朕カ志ニアラス然ルニ交戦已ニ四歳
ヲ閱シ朕カ陸海將兵ノ勇戰朕カ百僚有司
ノ勵精朕カ一億衆庶ノ奉公各最善ヲ盡セル
ニ拘ラス戦局必スシモ好轉ス世界ノ大勢亦我ニ利
ラス加之敵ハ新ニ殘虐ナル爆彈（炸彈）ヲ使用シ慘害
ノ及フ所眞ニ測ルヘカラサルニ至ル而モ尚交戦ヲ
繼續セムカ終ニ我カ民族ノ滅亡ヲ招來スルノ
ミナラス延テ人類ノ文明ヲモ破却スヘシ斯ノ
如クムハ朕何ヲ以テカ億兆ノ赤子ヲ保シ皇祖

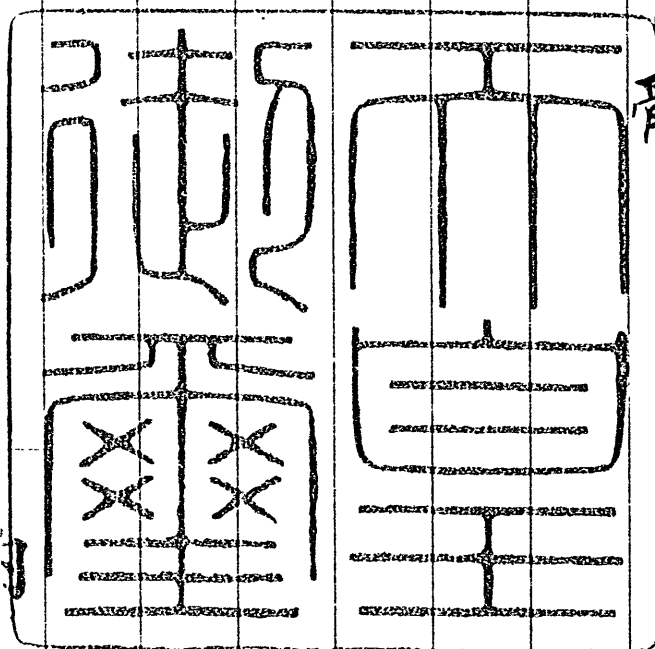
皇宗ノ神靈ニ謝セムヤ是レ朕カ帝國
政府ヲシテ共同宣言ニ應セシムルニ至レル所
以ナリ
朕ハ帝國ト共ニ終始東亞ノ解放ニ協力セ
ル諸盟邦ニ對シ遺憾ノ意ヲ表セサルヲ得
ス帝國臣民ニシテ戰陣ニ死シ職域ニ殉シ非
命ニ斃レタル者及其ノ遺族ニ想ヲ致セハ五
内爲ニ裂ク且戰傷ヲ負ヒ災禍ヲ蒙リ家業
ヲ失ヒタル者ノ厚生ニ至リテハ朕ノ深ク軫念ス
ル所ナリ惟フニ今後帝國ノ受クヘキ苦難ハ

固ヨリ尋常ニアラス爾臣民ノ表情モ朕善
ク之ヲ知ル然レトモ朕ハ時運ノ趨ク所堪ヘ
難キヲ堪ヘ忍ビ難キヲ忍ビ以テ萬世ノ爲ニ
太平ヲ開カムト欲ス

朕ハ茲ニ國體ヲ護持シ得テ忠良ナル爾臣
民ノ赤誠ニ信倚シ常ニ爾臣民ト共ニ在リ
若シ夫レ情ノ激スル所濫ニ事端ヲ滋クシ或
ハ同胞排擠互ニ時局ヲ亂リ爲ニ大道ヲ誤
リ信義ヲ世界ニ失フカ如キハ朕最モ之ヲ戒
ム宜シク擧國一家子孫相傳ヘ確ク神州ノ

不滅ヲ信シ任重クシテ道遠キヲ念ヒ總力ヲ將來ニ建
設ニ傾ケ道義ヲ篤クシ志操ヲ鞏クシ誓言テ國體
ノ精華ヲ發揚シ世界ノ進運ニ後レテラムコトヲ期スニ爾臣
民共ニ克ク朕カ意ヲ體セヨ

裕仁



昭和二十年八月十四日

内閣總理大臣男爵鈴木貫太郎

海軍大臣 米内光政

司法大臣 松阪廣政

陸軍大臣 阿南惟幾

軍需大臣 豊田貞次郎

厚生大臣 岡田忠彦

國務大臣 櫻井兵五郎

國務大臣 儿内司成三

國務大臣 下村一宏

大藏大臣 廣瀬豊作

文部大臣 太田耕造

農商大臣 石星孝篤

内務大臣 若原源基

外務大臣兼
東亞大臣 東郷茂徳

國務大臣 安井藤治

運輸大臣 小日山直登